

令和2年11月30日

令和2年度 第2回 大阪府立枚方高等学校 学校運営協議会

1 学校長挨拶

ただいま5時間目の授業を見学していただきまことにありがとうございました。コロナ禍の中で生徒たちも頑張っている。これから修学旅行などの行事を控え、引き続き気を引き締めて教育活動に取り組んでいきたい。

今回も様々な観点で本校について忌憚のないご意見を伺いたい。

◎国際文化科準備について

平成4年以来20年の歴史を持つ国際教養科募集を終了し、令和3年度から国際文化科の募集が始まる。

本校の理念として、「教養は身に着けるもの、文化は発信すべきもの」と捉えている。カリキュラムも、英語だけに特化するのではなく、世界を意識して情報を発信できる学科へと改編していきたい。加えて、「総合的な探究の時間」を軸として、SDGsに関する取り組みについても今年度以上に積極的に捉えていきたい。(SDGsに関しては普通科も含めて実施)

◎授業アンケートについて

過去4年間との比較をもとにデータを作成した。すべての項目で同等、もしくはより高い評価をいただいた。先生方の努力はもちろんだが、生徒も一体となって努力した結果だと考える。今後ともよりよい授業を目指していく。

2 事務局より

(1) 資料3 総合的な探究の時間

平成29年度より「人権」「進路」「異文化理解」を三本の柱と定めて計画を立て始めた。年度ごとに深化させ現在に至る。今年度はこれらのテーマをより統括的に捉えるため、SDGsに関する課題も取り入れた。3年生が枚方市と協力して挑んだ「枚方市の課題」に関する取り組みは、SDGsを身近な社会の中でとらえなおす機会となり、「協働」「課題解決」「発信」などの観点からもたいへん有意義であった。

(2) 資料4 GIGAスクール構想について

令和3年1・2月に校内ネットワーク環境を整備。これにより、普通教室にアクセス

ポイントが設置され、教員と生徒がタブレット等を活用して授業を行う環境が整う。生徒や教員が使用するタブレットはクロームブックを予定している。これは大阪府からの指定。枚方市では小・中学校がすでに全生徒に iPad を提供している。高校では令和3年度に全生徒に導入し、授業等で活用予定。

(3) 教務部

令和4年度に導入される新カリキュラムの準備はほぼ完了した。新カリキュラムでは社会科・国語科の科目内容に大きな変更がある。

国際文化科では情報・理系科目に変更を加えた。これまでの文系に特化したカリキュラムから、理系科目もいくつか選択できるように考慮している。

(4) 生徒部

遅刻に関しては、1・2年生に関しては、例年通り少ない。基本的には生活習慣の乱れはなく、生徒たちは規律正しく学校生活を送ることができている。

学校行事については、残念だが、体育祭が中止になった。文化祭は無観客で実施したが、実施できて良かったと思う。特に3年生にとっては最後の大きな行事として思い出に残ることだろう。内容も素晴らしかった

部活動は、1年生の入部率が心配されたが、例年より多くの生徒が部活に加入した。行事の少ない中、球技大会を企画した。生徒たちは楽しんでいたと思う。

(5) 進路部

3年生の進路については、進路希望状況に例年と大きな変化はなく、大学進学希望者が大半を占める。就職の生徒は1名で、すでに内定済み。

進学希望者の内訳をみると、指定校推薦やAO入試が例年より増加しており、希望者の半分くらいはすでに進学先が決定している。

大学入学共通テストは、過去最高の出願数であった。生徒へは、コロナ禍で一般入試等に不安があるため、大学入学共通テストは必ず受験するように指導している。

今年度から大学入試制度に組み込まれる予定であった英語の民間試験については、こちらもコロナ禍のため思うように予定が立たなかった

(6) 文化国際部

次年度以降の課題であるWeb交流を行うための交流高（海外）を募集中。本校独自の交渉では十分に情報を集めることが難しいため、大阪観光局にマッチング希望を提出している。他にも、枚方市の姉妹都市であるオーストラリア・ローガン市の高校や、これまで修学旅行で訪問していた台湾の高校も考慮している。

(7) その他

その他の資料説明

「L E T S」リーフレット

令和3年度に国際系学科を持つ府立10高の紹介リーフレット

3 協議、意見交換

議長交代 堅田利明氏へ

Q 国際文化科の希望状況はどのようなものであるか。

A 令和3年度の府立高校募集定員は、本校普通科を含め多くの近隣校で募集学級数が減少する。昨年度は国際教養科を第一希望にする生徒は少なかったが、今年度はこれまでの説明会等の反応を見る限り感触としてはよい。もちろん最終的な発表を見るまでは実際のところはわからない。

A 本校で実施した国際文化科説明会はコロナ禍のため人数制限をせざるを得なかったが、予想以上に反響があり、ずいぶん関心を持っていただいているという実感をえた。たいへんうれしく思うと同時に期待に応えなければいけないという気持ちを新たにした。

Q (意見) 「枚方未来学」の“3つの柱”はとてもいいと思った。生徒たちの自尊感情を育てる意味でも言語だけでなくコミュニケーションも大切だ。

Q 国際文化科のカリキュラムに理系科目をどのように入れていくのか。

A 3年選択科目として予定している。理系科目が最大8時間選択可能になる。意欲のある生徒に対応できるようにしたい。

Q (意見・情報提供) 小学校ではすでにiPadが導入されており、教員もより良い活用を目指して職場で研修を続けている。活用例としては、小テストを配信し、タブレットの中で解答する。そして先生が解説を提示する、などである。各教科でも教科の特性に合わせて工夫する必要があるだろう。

この子たちが卒業した後高校でどのような授業を受けているのだろうか。たいへん気になる。ここ1・2年でICT教育は一気に進んでいる。様々な予測できない変化もある。例えば、子供たちが板書をノートに取らなくなる(タブレットで黒板の写真を撮る)など。

Q (意見・情報提供) ICT教育については課題もたくさんある。枚方市はレンタル、高校は今のところ未定。学校だけなのか、自宅に持ち帰ったりできるのか、わからないことが多い。

Q (意見・情報提供) 故障やトラブルに対応する人員も少ない。現状の業務を行う中で、さらに負担が増えるという懸念もある。

議長

質問や意見は以上です。本日の協議を参考にして今後の学校経営に生かしていただきたい。

議長交代 田原教頭へ

4 校長より

貴重なご意見をありがとうございました。

例年ならば年間行事予定通りに進んでいくことが、今年度はそうはいかない。本校では、先ほど報告があったように文化祭は無観客ながらなんとか実施できた。今後は、2年生の修学旅行が控えており、生徒たちは引き続き緊張の中で学校生活を送ることになる。

今後もいろいろご意見などを頂戴し、学校運営に生かしていきたい。

5 連絡

第3回は2月1日（月）13：30の予定です。

6 閉会宣言（田原教頭）